

# さいたま市教組情宣

さいたま市  
教職員組合  
(埼玉教組)

TEL 641-6763  
FAX 648-3567  
e-mail  
saisikyouseo@mx2.  
et.tiki.ne.jp

2003.1.16(木)  
No. 17

# 明けましておめでとーござります

◆年頭に当たって◆

## 一見困難に見える情勢の

## なかにも光はある

さいたま市教組執行委員長 田畑 茂

明けましておめでとーございます。  
昨年の「三十人学級を求める請願署名」は、六万三〇〇〇筆を超す数が集まりました。市議会始まって以来の請願署名数でした。

しかし残念ながら請願は不採択になってしまいました。不採択ではありませんが、それは本会議においては日本共産党(十八)・市民ネット

(五)・無所属全員(四)、大宮自民(一)の合計二十八の賛成と、自民・公明・民主の合計七十一の反対で押し切られたもので、一昨年の採択結果と比較してみても大きな前進でした。またこれは、教育委員会をして

「今、三十人学級が広く認められています。六万の署名を重く受け止めています。一とも言わしめました。残るは三十人学級実現を選挙公約に掲げた市長の決断次第といえます。」

今年四月にさいたま市は、政令指定都市になろうとしています。推進勢力はそのための財政問題を不採択の理由の一つにしています。しかし今必要な「三十人学級」などの切実な教育要求を後回しにしてまでも政令指定都市にする必要があるのでしょうか。また六万を超すという多くの人の声に耳を貸さないという市議会の体質は、政令指定都市になると変わるものなのでしょうか。答えは否です。

私たち教職員組合が取り組んだこの運動は、さいたま市にとって大きな問題提起でした。今回は結果を出すことができないものでしたが、必ずしや市政を変える大きな取りかかりとなったと思います。

一見困難に見える情勢のなかにも光はあります。  
二〇〇三年がその出発の年になるよう心から願いたいと思います。そして多くの教職員のみならず、その運動の担い手になってくれることを期待して新年のあいさついたします。



(二〇〇三年一月)

# あなたも組合加入の決意を

……組合の仕事は、人と人の心ぎ結ぶこと……

## 学校現場の危機的状況

今、学校現場は危機的状況に追い込まれています。定年まで勤め上げる人は少数です。続かないのです。

二〇〇〇年度末  
退職者平均年齢  
小学校四六、九歳  
中学校四九、六歳

四十代後半から次々と退職するのは、「身も心もボロボロになる前にやめてしまおう。」と言うのでしょうか。気持ちちは分かりますが、実践で油の乗りきった年齢ですから、実にもったいない教育現場の大損失です。

それに追い打ちをかけるのが、「二〇〇二年四月問題」とまで言われた超多忙なスタートでした。結局、悲鳴にも似た声が今日まで続き、精神疾患の病氣休職者や現職死が増え続けています。

## 「私たちの声を聞いてくれる組合がない」

人間を育てる教職員に対して、行政は非人間的な手段を用いてまでも「人材育成」を図る教育課程を強制しようとしています。



その結果、学校五日制・学習指導要領についてのアンケートに不満や要求がたくさん寄せられました。  
(さいたま市教組集計一八九筆、筆回答多数)

インタビューしていると、「結局、私たちの声を聞いてくれるのは組合しかないのよねえ。」と声が返ってきます。ここに「人間教職員」の生きるべき道があるのではないのでしょうか。

## くそ入の心を結ぶ さいたま市教組に 加入する



私たちは、多忙化と教職員への尊厳をも侵す最近の動きに対して、人と人の心を結ぶさいたま市教組に加入することを熱望します。ねばり強い交渉を繰り返す中で、小さな前進を勝ち取ってきています。さらに大き

な運動にするために「数は力」です。  
十二月に自分から進んで組合加入した年配の人は、激しい職場状況の中での自分の思いを組合員にたくさん語ってくれたそうです。心の結びつきが力になりました。

## 子どもと一緒に学校生活の喜びを生かす

さいたま市教組は、仲間とともに自由に発言・実践できる職場づくりを大切に、どの子にも確かな学力をつける学習会を企画しています。どなたでも気軽に参加してみたい。実践の展望が開けて元気が出てきます。そして、子どもと一緒に学校生活の喜びや生きがいをつくりだしていきたい。教職員が子どもと楽しく生きることが子どもの成長に欠かすことはいけません。

非人間的な文科省の政策は、早期の退職を迫ってくることは明らかです。組合に入ってから定年まで澁刺と勤め続けましょう。